授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	サービス接遇Ⅰ			
実務家教員授業				
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義　演習			
授業時間	６０単位時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	接客の基本を理解し、、サービス接遇検定２級レベルの知識の定着を図る			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	サービス接遇検定２級に合格できるレベルの知識を身に着ける			
教科書	就職に効く！サービス接遇検定３・２級テキスト＆問題集			
特記				
授業計画	1	サービス接遇検定の概要説明、サービススタッフの資質①	16	一般知識①
	2	サービススタッフの資質②	17	一般知識②
	3	サービススタッフの資質③　練習問題・解答解説	18	一般知識③　練習問題・解答解説
	4	対人技能①	19	模擬問題①
	5	対人技能②	20	模擬問題②
	6	対人技能③	21	模擬問題③
	7	対人技能④　練習問題・解答解説	22	模擬問題④
	8	実務技能①	23	模擬問題⑤
	9	実務技能②	24	模擬問題⑥
	10	実務技能③	25	模擬問題⑦
	11	実務技能④	26	模擬問題⑧
	12	実務技能⑤　練習問題・解答解説	27	模擬問題⑨
	13	専門知識①	28	模擬テスト①
	14	専門知識②	29	模擬テスト②
	15	専門知識③　練習問題・解答解説	30	模擬テスト③
成績評価方法 （試験実施方法）	28コマ目～30コマ目でテストを実施。			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定３級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名１ 2 訓読み・送り仮名２ 3 熟語１ 4 熟語２ 5 熟語３ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正１ 8 誤字訂正２ 9 項目別模擬試験１ 10 項目別模擬試験２ 11 直前模擬試験１ 12 直前模擬試験２ 13 直前模擬試験３ 14 直前模擬試験４ 15 直前模擬試験５
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定２級に合格できる知識を習得する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名１ 2 訓読み・送り仮名２ 3 熟語１ 4 熟語２ 5 熟語３ 6 熟語４ 7 異字同訓 8 同音異義 9 誤字訂正１ 10 誤字訂正２ 11 類義語 12 反対語１ 13 反対語２ 14 漢字の意味・使い方１ 15 漢字の意味・使い方２
成績評価方法 （試験実施方法）	各セクションでの確認テストにおける得点にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己ＰＲが出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方、身嗜みチェック 3 初級面接効果測定 4 自己分析① 5 自己分析② 6 自己分析③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 志望動機① 11 志望動機② 12 志望動機③ 13 面接カードの作成 14 中級面接効果測定 15 模擬面接試験の検証
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	サービス接遇Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	
授業の進め方	相モデルで面接練習を行い、スキルの向上を図る
達成目標	サービス接遇検定準１級に合格できるレベルのスキルを身に着ける
教科書	サービス接遇検定準１級　受験ガイド
特記	
授業計画	1 サービス接遇検定準１級概要説明 2 発声練習、あいさつ練習 3 あいさつ、基本言動 4 接客応答① 5 接客応答② 6 接客対応① 7 接客対応② 8 あいさつ、基本言動、接客応答　ロールプレイング① 9 あいさつ、基本言動、接客応答　ロールプレイング② 10 接客応答、接客対応　ロールプレイング① 11 接客応答、接客対応　ロールプレイング② 12 サービス接遇検定準１級　通し練習① 13 サービス接遇検定準１級　通し練習② 14 模擬テスト 15 振り返り・最終通し練習
成績評価方法 (試験実施方法)	14コマ目に本番を想定したテストを実施。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題演習により知識の定着を図る
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定２級に合格する
教科書	項目別答練・直前答練
特記	
授業計画	1 項目別答練① 2 項目別答練② 3 項目別答練③ 4 項目別答練④ 5 項目別答練⑤ 6 直前答練① 7 直前答練② 8 直前答練③ 9 直前答練④ 10 直前答練⑤ 11 模擬試験① 12 模擬試験② 13 模擬試験③ 14 模擬試験④ 15 模擬試験⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 エントリーシート・面接カード作成① 2 エントリーシート・面接カード作成② 3 エントリーシート・面接カード作成③ 4 エントリーシート・面接カード作成④ 5 エントリーシート・面接カード作成⑤ 6 職種研究① 7 職種研究② 8 職種研究③ 9 職種研究④ 10 面接効果測定準備 11 上級面接効果測定 12 模擬面接準備 13 模擬面接① 14 模擬面接② 15 模擬面接③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ＷＯＲＤ基礎
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	あらゆる企業で使用されている文書作成ソフトの基本を身につける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ＷＯＲＤに関する基礎知識を身につけ、ビジネス文書が作成できるようになる
教科書	３０時間でマスター　Ｗｏｒｄ２０１６
特記	
授業計画	1　１章　Ｗｉｎｄｏｗｓ１０の基礎 ２章　Ｗｏｒｄ入門 起動、終了、文字入力 2　２章　実習問題 3　３章　文書の作成 入力、保存と読み込み、印刷、削除 4　３章　実習問題 5　４章　Ｗｏｒｄの活用 編集機能、表の編集、画像・テキストボックスの挿入 6　４章　実習問題 7　５章　Ｗｏｒｄの活用２ 画像の利用・ワードアート・図形描写・スマートアート 8　５章　実習問題 9　６章　Ｗｏｒｄの応用 はがき作成・差し込み印刷・グラフの挿入 10　６章　実習問題 11　７章　Ｗｏｒｄによるプレゼンテーション レポート作成・ページ区切り 12　問題演習① 13　問題演習② 14　問題演習③ 15　総合問題テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	15コマ目総合問題テストにて判定。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ＷＯＲＤ応用
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ＰＣの基本操作ならびにＷＯＲＤの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	ＭＯＳ　ＷＯＲＤレベルの操作を習得する
教科書	テキストおよび参考書
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	秘書実務
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義　演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	秘書検定合格に向け、秘書としての資質、職務・一般知識、マナー接遇の知識を習得する。
授業の進め方	問題演習と解説を繰り返し行う。合格ライン未到達の場合は補講を実施。
達成目標	秘書検定に合格できるレベルの理論・実技の知識を身に付ける
教科書	秘書検定　2級に面白いほど受かる本
特記	
授業計画	1　社会人に必要な自覚と心構え、秘書に求められる人柄 2　秘書に求められる能力 3　秘書の役割・機能、職務内容 4　一般知識 5　報告・説明の仕方 6　敬語の用法 7　電話応対① 8　電話応対② 9　来客応対① 10　来客応対② 11　社内文章・社外文章① 12　社内文章・社外文章② 13　メール・郵便・書類整理の知識① 14　メール・郵便・書類整理の知識② 15　出張の注意点・オフィスの環境作り
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト90％、秘書検定の合否10％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ＥＸＣＥＬ基礎
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	あらゆる企業で使用されている表計算ソフトの基本を身につける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	ＥＸＣＥＬに関する基礎知識を身につける
教科書	３０時間でマスター　Ｅｘｃｅｌ２０１６
特記	
授業計画	1　１章　ＥＸＣＥＬの基礎知識　起動、終了、データ入力 2　２章　ＥＸＣＥＬ入門 合計、保存、呼び出し、印刷、グラフ、オートフィル ２章　実習１～４ 3　３章　ワークシートの活用（１）行列の削除、挿入、移動、平均 実習５、実習６ 4　３章　ワークシートの活用（１）罫線、形式を選択して貼り付け オートカルク、セルのスタイル　　実習７～実習１０ 5　４章　ワークシートの活用（２） 絶対参照、割合、％表示、カンマ表示、フォント、属性 6　４章　ワークシートの活用（２） ＭＡＸ、ＭＩＮ、ＣＯＵＮＴ、ＣＯＵＮＴＡ　実習１１～実習１４ 7　４章　ワークシートの活用（２） ＲＯＵＮＤ、ＲＯＵＮＤＵＰ、ＲＯＵＮＤＤＯＷＮ 実習１５～実習１７ 8　４章　ワークシートの活用（２） ＩＦ、条件付き書式、スパークライン　　実習１８ 9　５章　グラフ（１）　　実習１９～実習２４ 10　６章　グラフ（２） 11　７章　データベース　並べ替え、抽出、データの集計 実習３２、実習３３ 12　８章　ＥＸＣＥＬの応用　順位付け、ＶＬＯＯＫＵＰ、ＨＬＯＯＫＵＰ 13　問題演習① 14　問題演習② 15　総合問題テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	15コマ目総合問題テストにて判定。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅰ	
実務家教員授業		
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０単位時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身に付ける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキストおよび参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	一般的なビジネス文書の作成①
	5	一般的なビジネス文書の作成②
	6	一般的なビジネス文書の作成③
	7	シンプルなレポートや報告書の作成①
	8	シンプルなレポートや報告書の作成②
	9	シンプルなレポートや報告書の作成③
	10	表、画像、図形を使った文書の作成①
	11	表、画像、図形を使った文書の作成②
	12	表、画像、図形を使った文書の作成③
	13	表、画像、図形を使った文書の作成④
	14	表、画像、図形を使った文書の作成⑤
	15	表、画像、図形を使った文書の作成⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	秘書検定総合
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	秘書的業務についての基礎的な知識と技能を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	秘書的業務を行うために必要とされる知識と技能を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 項目別問題1 2 項目別問題2 3 項目別問題3 4 項目別問題4 5 基礎練習問題1 6 基礎練習問題2 7 基礎練習問題3 8 基礎練習問題4 9 基礎練習問題5 10 直前答案練習1 11 直前答案練習2 12 直前答案練習3 13 直前答案練習4 14 直前答案練習5 15 直前答案練習6
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験90％　検定合否10％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実戦的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	１．読み書きができる。 ２．以下の簡単な会話ができる ①挨拶＆自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる″
教科書	外販教材・問題集
特記	
授業計画	1 オリエンテーション；韓国語に関する豆知識　基本母音 2 基本子音①説明＆子音「K」　復習と会話 3 小テスト　基本子音②－「N」＆「T」＆「R」　基本子音③－「M」＆「P」＆「S」 4 復習と会話　基本子音④－「J」＆「H」＋まとめ 5 小テスト　激音①－「Ch」＆「Kh」　復習と会話 6 激音②－「Th」＆「Ph」＋まとめ　濃音①－「KK」＆「TT」＆「PP」 7 小テスト　復習と会話　濃音②－「SS」＆「JJ」＋まとめ 8 パッチム①〔P20の説明、P23N〕　復習と会話 9 小テスト　パッチム②〔P20K、P21B〕　パッチム③〔P22M、P21NG〕 10 復習と会話　パッチム④〔P23L、P22T〕＋まとめ 11 小テスト　合成母音①〔P25＆26の説明〕　復習と会話 12 合成母音②〔P27、28〕　〈1課〉私は日本人です。 13 小テスト　宿題チェック　〈1課〉私は日本人です。 14 まとめ　〈1課〉宿題チェック／総復習 15 最終到達度確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	最終到達度確認テストで７０％以上のスコアを取得する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ	
実務家授業		
学部・学科	トータルビューティー学科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実戦的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音
	2	中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化
	3	中国語発音の基礎(3) 声調と変調・ｒ化現象・発音のおさらい
	4	簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	5	簡単な日常挨拶(2) 基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について
	6	数字を覚えよう 年, 月, 日, 曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」
	7	数字の活用 こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」 時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」
	8	存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」＋名詞
	9	場所の表現 場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」
	10	買い物をする／値段を聞く＆値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」
	11	乗り換えと両替 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」
	12	電話をする→「是～的」の構文・結果補語 約束する→ある経験を表す文型「動詞＋过～」・まだ～していない「还没(有)～」
	13	確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」
	14	お客さんの出迎え＆歓迎会 連体修飾語としての動詞，動詞構造，主述構造・程度補語　「得」
	15	別れを告げる＆総復習 仮説を表す「～的话」，「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 （試験実施方法）	最終到達度確認テストで７０％以上のスコアを取得する。	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ベーシックメイクアップⅠ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義　演習　実習			
授業時間	６０単位時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	実践的なメイク技術の基礎を学ぶ			
授業の進め方	美容師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る			
達成目標	イメージに合わせたメイク技術を身につける			
教科書	なし			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	時代別メイク①	16	テーマ別メイク④
	2	時代別メイク②	17	テーマ別メイク⑤
	3	時代別メイク③	18	テーマ別メイク⑥
	4	時代別メイク④	19	フォトコンテスト練習①
	5	時代別メイク⑤	20	フォトコンテスト練習②
	6	時代別メイク⑥	21	フォトコンテスト練習③
	7	イメージメイク①	22	フォトコンテスト練習④
	8	イメージメイク②	23	フォトコンテスト練習⑤
	9	イメージメイク③	24	フォトコンテスト練習⑥
	10	イメージメイク④	25	フォトコンテスト実践①
	11	イメージメイク⑤	26	フォトコンテスト実践②
	12	イメージメイク⑥	27	フォトコンテスト実践③
	13	テーマ別メイク①	28	フォトコンテスト実践④
	14	テーマ別メイク②	29	フォトコンテスト実践⑤
	15	テーマ別メイク③	30	フォトコンテスト実践⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	30コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ベーシックメイクアップⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習　実習			
授業時間	６０単位時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	実践的なメイク技術の基礎を学び、作品制作を行う			
授業の進め方	美容師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る			
達成目標	イメージに合わせたメイク技術をショーで披露できるようになる			
教科書	なし			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	舞台メイク①	16	ビューティーショーメイク練習④
	2	舞台メイク②	17	ビューティーショーメイク練習⑤
	3	舞台メイク③	18	ビューティーショーメイク練習⑥
	4	舞台メイク④	19	ビューティーショーメイク練習⑦
	5	舞台メイク⑤	20	ビューティーショーメイク練習⑧
	6	舞台メイク⑥	21	ビューティーショーメイク実践①
	7	ブライダルメイク①	22	ビューティーショーメイク実践②
	8	ブライダルメイク②	23	ビューティーショーメイク実践③
	9	ブライダルメイク③	24	ビューティーショーメイク実践④
	10	ブライダルメイク④	25	ビューティーショーメイク実践⑤
	11	ブライダルメイク⑤	26	ビューティーショーメイク実践⑥
	12	ブライダルメイク⑥	27	ビューティーショーメイクリハーサル①
	13	ビューティーショーメイク練習①	28	ビューティーショーメイクリハーサル②
	14	ビューティーショーメイク練習②	29	ビューティーショー当日準備①
	15	ビューティーショーメイク練習③	30	ビューティーショー当日準備②
成績評価方法 （試験実施方法）	29・30コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ベーシックエステティックⅠ
実務家教員授業	○
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義　演習　実習
授業時間	９０単位時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	ファイシャル、ボディに関する知識、技術の基礎を学ぶ
授業の進め方	認定講師の指導を基に、実技を相モデル系形式にて実施する
達成目標	正確な手順や強弱を覚え、基礎技術を習得する
教科書	協会指定である新エステティック学
特記	美容職経歴を持つ教員による実習

授業計画						
	1	フェイシャル実技理論①	16	フェイシャル基礎実習⑪	31	フェイシャル実習　手技⑪
	2	フェイシャル実技理論②	17	フェイシャル基礎実習⑫	32	フェイシャル実習　手技⑫
	3	フェイシャル実技理論③	18	フェイシャル基礎実習⑬	33	フェイシャル実習　手技⑬
	4	フェイシャル実技理論④	19	フェイシャル基礎実習⑭	34	フェイシャル実習　手技⑭
	5	フェイシャル実技理論⑤	20	フェイシャル基礎実習⑮	35	フェイシャル実習　手技⑮
	6	フェイシャル基礎実習①	21	フェイシャル実習　手技①	36	ボディ実技理論①
	7	フェイシャル基礎実習②	22	フェイシャル実習　手技②	37	ボディ実技理論②
	8	フェイシャル基礎実習③	23	フェイシャル実習　手技③	38	ボディ実技理論③
	9	フェイシャル基礎実習④	24	フェイシャル実習　手技④	39	ボディ実技理論④
	10	フェイシャル基礎実習⑤	25	フェイシャル実習　手技⑤	40	ボディ実技理論⑤
	11	フェイシャル基礎実習⑥	26	フェイシャル実習　手技⑥	41	ボディ実習　手技　背面①
	12	フェイシャル基礎実習⑦	27	フェイシャル実習　手技⑦	42	ボディ実習　手技　背面②
	13	フェイシャル基礎実習⑧	28	フェイシャル実習　手技⑧	43	ボディ実習　手技　背面③
	14	フェイシャル基礎実習⑨	29	フェイシャル実習　手技⑨	44	ボディ実習　手技　背面④
	15	フェイシャル基礎実習⑩	30	フェイシャル実習　手技⑩	45	ボディ実習　手技　背面⑤

成績評価方法 （試験実施方法）	29・30コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ベーシックエステティックⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習　実習			
授業時間	６０単位時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	ボディ、ワックス脱毛に関する知識、技術の基礎を学ぶ			
授業の進め方	認定講師の指導を基に、実技を相モデル系形式にて実施する			
達成目標	正確な手順や強弱を覚え、基礎技術を習得する			
教科書	協会指定である新エステティック学			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	ボディ実習　手技　背面⑥	16	ボディ実習　手技　前面⑥
	2	ボディ実習　手技　背面⑦	17	ボディ実習　手技　前面⑦
	3	ボディ実習　手技　背面⑧	18	ボディ実習　手技　前面⑧
	4	ボディ実習　手技　背面⑨	19	ボディ実習　手技　前面⑨
	5	ボディ実習　手技　背面⑩	20	ボディ実習　手技　前面⑩
	6	ボディ実習　手技　背面⑪	21	ボディ実習　手技　前面⑪
	7	ボディ実習　手技　背面⑫	22	ボディ実習　手技　前面⑫
	8	ボディ実習　手技　背面⑬	23	ボディ実習　手技　前面⑬
	9	ボディ実習　手技　背面⑭	24	ボディ実習　手技　前面⑭
	10	ボディ実習　手技　背面⑮	25	ボディ実習　手技　前面⑮
	11	ボディ実習　手技　前面①	26	美容脱毛理論①
	12	ボディ実習　手技　前面②	27	美容脱毛理論②
	13	ボディ実習　手技　前面③	28	ワックス脱毛実習①
	14	ボディ実習　手技　前面④	29	ワックス脱毛実習②
	15	ボディ実習　手技　前面⑤	30	ワックス脱毛実習③
成績評価方法 （試験実施方法）	10コマ目・25コマ目にボディ実技テストを実施する。			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ベーシックネイルⅠ
実務家教員授業	○
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義　演習　実習
授業時間	９０単位時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	ネイル検定3級・2級の技術の習得
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	ネイリスト技能検定3級
教科書	ＪＮＡテクニカルシステム　ベーシック
特記	美容職経歴を持つ教員による実習

授業計画						
	1	教材・テキスト配布	16	3級実技試験　通し練習⑥	31	2級チップ＆ラップ⑤
	2	教材明記・テキスト説明①	17	3級実技試験　通し練習⑦	32	2級チップ＆ラップ⑥
	3	テキスト説明②　手指消毒	18	3級実技試験　苦手分野練習①	33	2級カラーリング①
	4	テキスト説明③　オレンジウッドスティック作成	19	3級実技試験　苦手分野練習②	34	2級カラーリング②
	5	ファイル・カラーリング①	20	3級実技試験　苦手分野練習③	35	2級実技試験　後半通し①
	6	ファイル・カラーリング②	21	3級実技試験　苦手分野練習④	36	2級実技試験　後半通し②
	7	ネイルケア①	22	3級実技試験　通し練習・最終ケア①	37	2級実技試験　後半通し③
	8	ネイルケア②	23	3級実技試験　通し練習・最終ケア②	38	2級実技試験　後半通し④
	9	3級ネイルアート①	24	3級実技試験　通し練習・最終ケア③	39	2級実技試験　後半通し⑤
	10	3級ネイルアート②	25	3級実技試験前最終ケア①	40	2級実技試験　後半通し⑥
	11	3級実技試験　通し練習①	26	3級実技試験前最終ケア②	41	2級実技試験　前半通し①
	12	3級実技試験　通し練習②	27	2級チップ＆ラップ①	42	2級実技試験　前半通し②
	13	3級実技試験　通し練習③	28	2級チップ＆ラップ②	43	2級実技試験　通し練習①
	14	3級実技試験　通し練習④	29	2級チップ＆ラップ③	44	2級実技試験　通し練習②
	15	3級実技試験　通し練習⑤	30	2級チップ＆ラップ④	45	2級実技試験　通し練習③

成績評価方法 （試験実施方法）	23コマ・24コマ目に検定試験本番同様の実技試験を実施。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ベーシックネイルⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習　実習			
授業時間	６０単位時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	ネイル検定2級・1級の技術の習得			
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る			
達成目標	ネイリスト技能検定2級			
教科書	ＪＮＡテクニカルシステム　ベーシック			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	2級実技試験　通し練習①	16	1級スカルプチュア・チップ＆オーバーレイ④
	2	2級実技試験　通し練習②	17	1級スカルプチュア・チップ＆オーバーレイ⑤
	3	2級実技試験前最終ケア①	18	1級スカルプチュア・チップ＆オーバーレイ⑥
	4	2級実技試験前最終ケア②	19	1級ミックスメディアアート①
	5	1級スカルプチュア説明	20	1級ミックスメディアアート②
	6	1級チップ＆オーバーレイ説明	21	1級技術試験　通し練習①
	7	1級　1ボール	22	1級技術試験　通し練習②
	8	1級　フォーム	23	1級技術試験　通し練習③
	9	1級スカルプチュア①	24	1級技術試験　通し練習④
	10	1級スカルプチュア②	25	1級技術試験　通し練習⑤
	11	1級チップ＆オーバーレイ①	26	1級技術試験　通し練習⑥
	12	1級チップ＆オーバーレイ②	27	1級技術試験　通し練習⑦
	13	1級スカルプチュア・チップ＆オーバーレイ①	28	1級技術試験　通し練習⑧
	14	1級スカルプチュア・チップ＆オーバーレイ②	29	1級技術試験前最終ケア①
	15	1級スカルプチュア・チップ＆オーバーレイ③	30	1級技術試験前最終ケア②
成績評価方法 （試験実施方法）	3コマ・4コマ目に検定試験本番同様の実技試験を実施。			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	メイクアップ演習Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義　演習
授業時間	６０単位時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	スキンケア・ベースメイクの技術の習得
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	日本メイクアップ技術検定試験３級
教科書	日本メイクアップ技術検定試験　公式テキスト
特記	

授業計画

1	メイクキットの検品・道具の説明と手入れ	16	ベースメイク⑥　コントロールカラー・コンシーラー
2	３級試験概要説明・テーブルセッティングとモデルセッティング	17	ベースメイク⑦　メイクアップベース～コントロールカラー～コンシーラー～パウダー　実践練習
3	スキンケア①　順序・スキンケア化粧品の目的と特徴	18	ベースメイク⑧　メイクアップベース～コントロールカラー～コンシーラー～パウダー　実践練習
4	スキンケア②　化粧水・乳液の実践練習	19	ベースメイク⑨　通し練習
5	スキンケア③　顔の各名称・手順復習（化粧水・乳液）	20	ベースメイク⑩　通し練習
6	スキンケア④ ポイントクレンジング・クレンジングの実践練習	21	ベースメイク⑪　実技確認テスト
7	スキンケア⑤　通し練習	22	トータルレッスン①　スキンケア～ベースメイク　復習
8	スキンケア⑥　通し練習	23	トータルレッスン②　スキンケア～ベースメイク　手順確認
9	スキンケア⑦　実技確認テスト	24	トータルレッスン③　スキンケア～ベースメイク　手順確認
10	スキンケア⑧　実技確認テスト	25	トータルレッスン④　スキンケア～ベースメイク　確認テスト
11	ベースメイク①　順序・ベースメイク化粧品の目的と特徴	26	トータルレッスン⑤　スキンケア～ベースメイク　確認テスト
12	ベースメイク②　メイクアップベース～ファンデーション～パウダー　実践練習	27	模擬試験①
13	ベースメイク③　メイクアップベース～ファンデーション～パウダー　復習	28	模擬試験②
14	ベースメイク④　メイクアップベース～ファンデーション～パウダー　復習	29	３級実技試験前最終練習
15	ベースメイク⑤　ベースメイクの質感・肌トラブル・コントロールカラー	30	３級実技試験

成績評価方法（試験実施方法）	３級実技試験にて評価（８０点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	メイクアップ演習Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習　実習
授業時間	６０単位時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	スキンケア・ベースメイク・ポイントメイクの技術の習得
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	日本メイクアップ技術検定試験２級
教科書	日本メイクアップ技術検定試験　公式テキスト
特記	
授業計画	1　２級検定概要・ファンデーション　ブラシテク 2　ファンデーション　ブラシテクニック② 3　アイブロウの基礎知識 4　アイブロウテクニック 5　アイカラーの基礎知識 6　アイカラーの実践・アイラインテクニック 7　ビューラー、マスカラの基礎知識 8　ビューラー、マスカラの実践 9　アイブロウ、アイメイク　通し練習① 10　アイブロウ、アイメイク　通し練習② 11　リップの基礎知識 12　リップの実践 13　ポイントメイク　復習① 14　ポイントメイク　復習② 15　ポイントメイク　通し練習① 16　ポイントメイク　通し練習② 17　フルメイク　通し練習① 18　フルメイク　通し練習② 19　顔分析 20　顔分析・フルメイク 21　錯覚とメイクアップ・色彩とメイクアップ 22　スキンケア・ベースメイク復習 23　模擬試験① 24　模擬試験② 25　模擬試験③ 26　模擬試験④ 27　模擬試験⑤ 28　模擬試験⑥ 29　２級実技試験① 30　２級実技試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	２級実技試験にて評価（８０点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	エステティック概論
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	エステティックの本質と現状を理解し知識を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	エステティックに関する基礎的な知識を習得する
教科書	新エステティック学　理論編Ⅲ
特記	
授業計画	1　エステティックの本質と領域　語源と歴史 2　〃　領域 3　エステティックの本質と領域　ソワンエステティック 4　〃　五感美容 5　美と健康　健康美 6　〃　ウエルネス・アンチエイジング 7　エステティシャンとしての心構え　エステティシャンの資質 8　〃　ホスピタリティーマインドの意義 9　日本のエステティック　歴史と業界の現況 10　〃　エステティック市場の現状と展望 11　世界のエステティック　欧米における歴史と現状 12　〃　アジアにおける歴史と現状 13　〃　各国のエステティシャンの教育と資格 14　問題演習 15　習熟理解度テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	15コマ目実施　習熟理解度テスト（60点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	皮膚科学
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０単位時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	皮膚の働きとしくみを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	皮膚のしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケア方法を身につける
教科書	新エステティック学　理論編Ⅰ
特記	
授業計画	1 皮膚の基本知識　生体における皮膚の役割・皮膚の構造と働き 2 〃　皮膚の構造と働き 3 〃　復習・問題演習 4 美容上大切な皮膚の６つの働き　皮脂膜・角質層バリア 5 〃　表皮ターンオーバー・メラノサイト 6 〃　毛細血管・線維芽細胞 7 〃　復習・問題演習 8 肌の美しさを損ねる要因　紫外線 9 〃　寒気・乾燥・加齢 10 〃　女性のリズム（月経、妊娠、更年期） 11 〃　精神的ストレス・胃の不調 12 〃　生活習慣 13 〃　復習・問題演習 14 さまざまな肌状態　肌意識の年代変化・美しい肌 15 〃　衰えた肌 16 〃　色素沈着を起こした肌 17 〃　ニキビ 18 〃　肌荒れと敏感 19 〃　復習・問題演習 20 肌と環境　肌と地域気候 21 〃　肌と気象の季節区分 22 〃　復習・問題演習 23 肌分析　目的・肌分析を行ううえで考慮すべきポイント 24 〃　肌質チェック項目 25 〃　肌タイプ 26 問題演習・解説 27 問題演習・解説 28 問題演習・解説 29 問題演習・解説 30 習熟理解度テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	30コマ目実施　習熟理解度テスト（60点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	栄養学
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	食物の栄養素と健康の関係の知識を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	栄養素と健康の関係を理解し、アドバイスができる知識を身につける
教科書	新エステティック学　理論編Ⅱ
特記	
授業計画	1　栄養学の基礎知識　栄養素の種類・５大栄養素 2　〃　５大栄養素 3　〃　栄養価・栄養所要量 4　〃　食物摂取とその消化吸収 5　〃　栄養学から見た食品 6　〃　復習・問題演習 7　健康と栄養　栄養状態の判定・肥満 8　〃　中・老年期の栄養 9　〃　美容と栄養 10　〃　復習・問題演習 11　サプリメント 12　食品添加物 13　問題演習・解説 14　問題演習・解説 15　習熟理解度テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	15コマ目実施　習熟理解度テスト（60点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アロマテラピー基礎
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義　演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	アロマテラピーに関して実践的な知識を幅広く学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識の定着を図る
達成目標	アロマテラピーに関して基礎的な知識を身に着ける
教科書	アロマテラピー検定公式テキスト
特記	
授業計画	1 アロマテラピーの基本・精油 2 アロマテラピーの安全性 3 精油のプロフィール 4 実践①　基材・用具 5 実践②　アロマスプレー作り 6 アロマテラピーのメカニズム 7 実践③　沐浴法 8 ビューティー＆ヘルスケア 9 実践④　入浴剤作り 10 アロマテラピーの歴史 11 実践⑤　トリートメント法 12 問題演習① 13 問題演習② 14 問題演習③ 15 習熟理解度テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	15コマ目実施　習熟理解度テスト（60点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	色彩概論
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	色彩に関しての基本ルールを学び理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	色彩に関しての基本的な知識を身につける
教科書	色彩検定公式テキスト
特記	
授業計画	1　基本　ガイダンス 各分野における色彩の活用例 色彩とその効果 ・カラーダイヤル作成 2　基本　色の分類と三属性 3　基本　PCCS 4　基本　色はなぜ見えるのか　光と色 5　基本　眼のしくみ 6　基本　照明と色の見え方　・問題演習による定着 7　基本　混色 8　基本　色の心理効果・色の視覚効果① 9　基本　色の視覚効果② 10　基本　配色の基本　色相からの配色 11　基本　配色の基本　トーンからの配色　・　配色技法 12　基本　配色イメージ・色名と基本色彩語 13　基本　ファッション色彩と配色 14　基本　インテリアと色彩 15　基本問題演習　習熟理解度テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	授業時に出される課題の毎回の提出状況　70点（１回5点×14回） 15コマ目実施　基礎問題演習習熟理解度テスト　30点
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	色彩応用
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０単位時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	色彩基礎の知識を活用し、色彩検定３級レベルの知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習とポイントを絞った復習により知識の定着を図る
達成目標	色彩検定３級に合格できるレベルの知識を身に着ける
教科書	色彩検定公式テキスト
特記	
授業計画	1 項目別　色のはたらき・光と色・色の表示 2 項目別　色彩心理・色彩調和に関する問題演習 3 項目別　配色イメージ、ファッション、インテリア　問題演習 4 総合力問題演習① 5 総合力問題演習② 6 総合力問題演習③ 7 集中復習　色の表示 8 検定直前対策 9 検定直前対策 10 検定直前対策 11 集中復習　光と色 12 検定直前対策 13 検定直前対策 14 検定直前対策 15 集中復習　色彩心理 16 検定直前対策 17 検定直前対策 18 検定直前対策 19 集中復習　色彩調和 20 検定直前対策 21 検定直前対策 22 検定直前対策 23 集中復習　眼 24 検定直前対策 25 検定直前対策 26 検定直前対策 27 集中復習　ファッション・インテリア 28 検定直前対策 29 検定直前対策 30 最終授業模擬テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	30コマ目実施　最終授業模擬テストの正答率にて判定。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パーソナルカラー基礎
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義　演習
授業時間	６０単位時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	パーソナルカラーに関しての基本ルールを学び理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	パーソナルカラー３級に合格できるレベルの知識を身に着け、パーソナルカラー診断のための基礎知識を習得する
教科書	パーソナルカラー検定３級公式テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス　パーソナルカラーとは・業界における活用方法など 2 第１章　色彩と文化　四季・色と生活 3 第１章　色彩と文化　日本の色の歴史① 4 第１章　色彩と文化　日本の色の歴史② 5 第１章　色彩と文化　色の種類 6 第１章　習熟理解度テスト 7 第２章　色彩理論　色の仕組み　光・眼 8 第２章　色彩理論　色の仕組み　無彩色・有彩色・三属性 9 第２章　色彩理論　CUS表色系　色相・色調・アンダートーン 10 第２章　色彩理論　CUS表色系　色相配色／色調配色 11 第２章　色彩理論　色の三属性と対比現象① 12 第２章　色彩理論　色の三属性と対比現象② 13 第２章　色彩理論　色の感情効果 14 第２章　色彩理論　色の配色効果 15 第２章　習熟理解度テスト 16 第３章　色彩とファッション　ファッション概論 17 第３章　色彩とファッション　イメージ用語の基礎知識 18 第３章　色彩とファッション　ブライダルと色彩 19 第３章　習熟理解度テスト 20 第４章　パーソナルカラー　肌の色、皮膚の構造 21 第４章　パーソナルカラー　髪色の科学、ヘアメイク 22 第４章　パーソナルカラー　特徴、アンダートーン 23 第４章　パーソナルカラー　パステルサマー 24 第４章　パーソナルカラー　ブリリアントウィンター 25 第４章　パーソナルカラー　ブライトスプリング 26 第４章　パーソナルカラー　ディープオータム 27 第４章　習熟理解度テスト 28 パーソナルカラー診断基礎知識① 29 パーソナルカラー診断基礎知識② 30 最終授業模擬テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	習熟理解度テスト　80点（１回20点×4回） 30コマ目実施　最終授業模擬テスト　20点
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	アドバンスメイクアップⅠ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	２年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習　実習			
授業時間	６０単位時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	実践的なメイク技術を学び作品制作を行う			
授業の進め方	美容師の指導を基に、作品制作を通して技術の向上を図る			
達成目標	イメージに合わせた作品が作れるようになる			
教科書	なし			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	テーマ別メイク練習①	16	フォトコンテスト用ウィッグ練習④
	2	テーマ別メイク練習②	17	フォトコンテスト用ウィッグ練習⑤
	3	テーマ別メイク練習③	18	フォトコンテスト用ウィッグ練習⑥
	4	テーマ別メイク練習④	19	フォトコンテスト用ウィッグ実践①
	5	テーマ別メイク練習⑤	20	フォトコンテスト用ウィッグ実践②
	6	テーマ別メイク練習⑥	21	フォトコンテスト用ウィッグ実践③
	7	テーマ別メイク実践①	22	フォトコンテスト用ウィッグ実践④
	8	テーマ別メイク実践②	23	フォトコンテスト相モデル練習①
	9	テーマ別メイク実践③	24	フォトコンテスト相モデル練習②
	10	テーマ別メイク実践④	25	フォトコンテスト相モデル練習③
	11	テーマ別メイク実践⑤	26	フォトコンテスト相モデル練習④
	12	テーマ別メイク実践⑥	27	フォトコンテスト相モデル練習⑤
	13	フォトコンテスト用ウィッグ練習①	28	フォトコンテスト相モデル練習⑥
	14	フォトコンテスト用ウィッグ練習②	29	フォトコンテスト相モデル練習⑦
	15	フォトコンテスト用ウィッグ練習③	30	フォトコンテスト相モデル練習⑧
成績評価方法 （試験実施方法）	21・22コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	アドバンスメイクアップⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習　実習			
授業時間	６０単位時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	実践的なメイク技術を学び作品制作を行う			
授業の進め方	美容師の指導を基に、作品制作を通して技術の向上を図る			
達成目標	イメージに合わせた作品が作れるようになる			
教科書	なし			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	フォトコンテスト相モデル実践①	16	ビューティーショーメイク実践②
	2	フォトコンテスト相モデル実践②	17	ビューティーショーメイク実践③
	3	フォトコンテスト相モデル実践③	18	ビューティーショーメイク実践④
	4	フォトコンテスト相モデル実践④	19	ビューティーショーメイク実践⑤
	5	ビューティーショーメイク練習①	20	ビューティーショーメイク実践⑥
	6	ビューティーショーメイク練習②	21	ビューティーショーメイク実践⑦
	7	ビューティーショーメイク練習③	22	ビューティーショーメイク実践⑧
	8	ビューティーショーメイク練習④	23	ビューティーショーメイク実践⑨
	9	ビューティーショーメイク練習⑤	24	ビューティーショーメイク実践⑩
	10	ビューティーショーメイク練習⑥	25	ビューティーショーメイク実践⑪
	11	ビューティーショーメイク練習⑦	26	ビューティーショーメイク実践⑫
	12	ビューティーショーメイク練習⑧	27	ビューティーショーメイク実践⑬
	13	ビューティーショーメイク練習⑨	28	ビューティーショーメイク実践⑭
	14	ビューティーショーメイク練習⑩	29	ビューティーショー当日準備①
	15	ビューティーショーメイク実践①	30	ビューティーショー当日準備②
成績評価方法 （試験実施方法）	29・30コマ目：作品の出来栄え、創意工夫などを総合評価する			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アドバンスエステティックⅠ
実務家教員授業	○
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習　実習
授業時間	９０単位時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	ファイシャル、ボディに関する知識、技術の習得
授業の進め方	認定講師の指導を基に、実技を相モデル系形式にて実施する
達成目標	認定エステティシャン実技試験に合格できるフェイシャル実技を習得する
教科書	協会指定である新エステティック学
特記	美容職経歴を持つ教員による実習

授業計画						
	1	フェイシャル機器①	16	フェイシャルカルテリング⑥	31	フェイシャル実技試験対策①
	2	フェイシャル機器②	17	フェイシャルカルテリング⑦	32	フェイシャル実技試験対策②
	3	フェイシャル機器③	18	フェイシャルカルテリング⑧	33	フェイシャル実技試験対策③
	4	フェイシャル機器④	19	フェイシャルカルテリング⑨	34	フェイシャル実技試験対策④
	5	フェイシャル機器⑤	20	フェイシャルカルテリング⑩	35	フェイシャル実技試験対策　模擬試験
	6	フェイシャル機器⑥	21	フェイシャル実習　通し①	36	フェイシャル応用技術
	7	フェイシャル機器⑦	22	フェイシャル実習　通し②	37	ボディ機器①
	8	フェイシャル機器⑧	23	フェイシャル実習　通し③	38	ボディ機器②
	9	フェイシャル機器⑨	24	フェイシャル実習　通し④	39	ボディ機器③
	10	フェイシャル機器⑩	25	フェイシャル実習　通し⑤	40	ボディ機器④
	11	フェイシャルカルテリング①	26	フェイシャル実習　通し⑥	41	ボディ機器⑤
	12	フェイシャルカルテリング②	27	フェイシャル実習　通し⑦	42	ボディ機器⑥
	13	フェイシャルカルテリング③	28	フェイシャル実習　通し⑧	43	ボディ機器⑦
	14	フェイシャルカルテリング④	29	フェイシャル実習　通し⑨	44	ボディ機器⑧
	15	フェイシャルカルテリング⑤	30	フェイシャル実習　通し⑩	45	ボディ機器⑨

成績評価方法 （試験実施方法）	35コマ目の模擬試験にて評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	アドバンスエステティックⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習　実習			
授業時間	６０単位時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	ボディ、ワックス脱毛に関する知識、技術の習得			
授業の進め方	認定講師の指導を基に、実技を相モデル系形式にて実施する			
達成目標	認定エステティシャン実技試験に合格できるボディ実技を習得する			
教科書	協会指定である新エステティック学			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	ボディ機器⑩	16	ボディ実習　通し⑤
	2	ボディカルテリング①	17	ボディ実習　通し⑥
	3	ボディカルテリング②	18	ボディ実習　通し⑦
	4	ボディカルテリング③	19	ボディ実習　通し⑧
	5	ボディカルテリング④	20	ボディ実習　通し⑨
	6	ボディカルテリング⑤	21	ボディ実習　通し⑩
	7	ボディカルテリング⑥	22	ボディ実技試験対策①
	8	ボディカルテリング⑦	23	ボディ実技試験対策②
	9	ボディカルテリング⑧	24	ボディ実技試験対策③
	10	ボディカルテリング⑨	25	ボディ実技試験対策④
	11	ボディカルテリング⑩	26	ボディ実技試験対策　模擬試験
	12	ボディ実習　通し①	27	ボディ応用技術
	13	ボディ実習　通し②	28	ワックス脱毛実践①
	14	ボディ実習　通し③	29	ワックス脱毛実践②
	15	ボディ実習　通し④	30	ワックス脱毛試験
成績評価方法 （試験実施方法）	26コマ目の模擬試験・30コマ目のワックス脱毛試験にて評価する。			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アドバンスネイルⅠ
実務家教員授業	○
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習　実習
授業時間	６０単位時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ジェルネイル検定初級・中級の技術の習得
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	ジェルネイル技能検定試験初級・中級
教科書	なし
特記	美容職経歴を持つ教員による実習
授業計画	1 ジェルネイル検定初級について 2 初級　ジェルカラーリング① 3 初級　ジェルカラーリング② 4 初級　ジェルカラーリング③ 5 初級　ジェルアート（ピーコック） 6 ジェルネイル初級試験　通し練習① 7 ジェルネイル初級試験　通し練習② 8 ジェルネイル初級試験　通し練習③ 9 ジェルネイル技能検定試験初級① 10 ジェルネイル技能検定試験初級② 11 ジェルネイル検定中級について 12 中級　ジェルフレンチカラーリング① 13 中級　ジェルフレンチカラーリング② 14 中級　ジェルフレンチカラーリング③ 15 中級　ジェルフレンチカラーリング④ 16 中級　ジェルグラデーション① 17 中級　ジェルグラデーション② 18 中級　ジェルイクステンション① 19 中級　ジェルイクステンション② 20 ジェルネイル中級試験　通し練習① 21 ジェルネイル中級試験　通し練習② 22 ジェルネイル中級試験　通し練習③ 23 ジェルネイル中級試験　通し練習④ 24 ジェルネイル中級試験　苦手分野練習① 25 ジェルネイル中級試験　苦手分野練習② 26 ジェルネイル中級試験　通し練習⑤ 27 ジェルネイル中級試験　通し練習⑥ 28 ジェルネイル中級試験　通し練習⑦ 29 ジェルネイル中級試験　通し練習・最終ケア① 30 ジェルネイル中級試験　通し練習・最終ケア②
成績評価方法 （試験実施方法）	9コマ・10コマ目に初級検定試験本番同様の実技試験を実施。 29コマ・30コマ目に中級検定試験本番同様の実技試験を実施。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	アドバンスネイルⅡ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	トータルビューティー学科			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習　実習			
授業時間	６０単位時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	ジェルネイル検定上級の技術の習得			
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る			
達成目標	ジェルネイル技能検定試験上級			
教科書	なし			
特記	美容職経歴を持つ教員による実習			
授業計画	1	ジェルネイル検定上級について	16	ジェルオーバーレイ・スカルプチュア⑤
	2	ジェルクリアスカルプチュア①	17	ジェルネイル上級試験　通し練習①
	3	ジェルクリアスカルプチュア②	18	ジェルネイル上級試験　通し練習②
	4	ジェルクリアスカルプチュア③	19	ジェルネイル上級試験　通し練習③
	5	ジェルチップオーバーレイ①	20	ジェルネイル上級試験　通し練習④
	6	ジェルチップオーバーレイ②	21	ジェルネイル上級試験　苦手分野練習①
	7	フレンチルック①	22	ジェルネイル上級試験　苦手分野練習②
	8	フレンチルック②	23	ジェルネイル上級試験　通し練習・苦手分野練習①
	9	フレンチルック③	24	ジェルネイル上級試験　通し練習・苦手分野練習②
	10	ジェルアート①	25	ジェルネイル上級試験　通し練習・苦手分野練習③
	11	ジェルアート②	26	ジェルネイル上級試験　通し練習・苦手分野練習④
	12	ジェルオーバーレイ・スカルプチュア①	27	ジェルネイル上級試験　通し練習・最終ケア①
	13	ジェルオーバーレイ・スカルプチュア②	28	ジェルネイル上級試験　通し練習・最終ケア②
	14	ジェルオーバーレイ・スカルプチュア③	29	ジェルネイル上級試験　通し練習・最終ケア③
	15	ジェルオーバーレイ・スカルプチュア④	30	ジェルネイル上級試験　通し練習・最終ケア④
成績評価方法 （試験実施方法）	25コマ・26コマ目に上級検定試験本番同様の実技試験を実施。			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ヘアスタイリング
実務家教員授業	○
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習　実習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ヘアアレンジの基本を習得
授業の進め方	美容師の指導を基に、繰り返し実技の練習をすることで技術の向上を図る
達成目標	フォトコンテストのヘアアレンジができるようになる
教科書	なし
特記	美容職経歴を持つ教員による実習
授業計画	1　ブラシ・コーム・スタイリング剤の使い方 2　平ゴム、樹脂ゴムの使い方 3　頭髪のブロッキング 4　編み込み①　三つ編み（表・裏） 5　編み込み②　ツイスト 6　編み込み③　フィッシュボーン 7　テーマに沿ってのアップスタイル① 8　テーマに沿ってのアップスタイル② 9　テーマに沿ってのアップスタイル③ 10　フォトコンテスト用ヘアアレンジ① 11　フォトコンテスト用ヘアアレンジ② 12　フォトコンテスト用ヘアアレンジ③ 13　フォトコンテスト用ヘアアレンジ④ 14　フォトコンテスト用ヘアアレンジ⑤ 15　フォトコンテスト用ヘアアレンジ⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	15コマ目：制作に対する取り組む姿勢、創意工夫などを総合的に評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビューティープランニング
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０単位時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	テーマに合わせた作品制作や演出を行う
授業の進め方	相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	ビューティーショーの成功
教科書	なし
特記	

授業計画						
	1	実施概要説明、過去の映像視聴	16	衣装・小物作成⑦	31	ウォーキング練習⑤
	2	クラステーマ設定	17	テーマに合わせた曲調べ	32	エンディング練習
	3	グループ分け、各テーマ設定	18	曲編集	33	通し練習①
	4	テーマに合わせたメイク・ヘア調べ①	19	ネイル作成①	34	通し練習②
	5	テーマに合わせたメイク・ヘア調べ②	20	ネイル作成②	35	通し練習③
	6	メイクデザイン画作成	21	ネイル作成③	36	通し練習④
	7	テーマに合わせたネイル調べ	22	ネイル作成④	37	通し練習⑤
	8	ネイルデザイン画作成	23	ネイル作成⑤	38	ヘアメイクリハーサル、写真撮影①
	9	テーマに合わせた衣装調べ	24	台本作成①	39	ヘアメイクリハーサル、写真撮影②
	10	衣装・小物作成①	25	台本作成②	40	リハーサル①
	11	衣装・小物作成②	26	台本作成③	41	リハーサル②
	12	衣装・小物作成③	27	ウォーキング練習①	42	最終準備①
	13	衣装・小物作成④	28	ウォーキング練習②	43	最終準備②
	14	衣装・小物作成⑤	29	ウォーキング練習③	44	最終準備③
	15	衣装・小物作成⑥	30	ウォーキング練習④	45	ビューティーショー

成績評価方法 （試験実施方法）	45コマ目：制作に対する取り組む姿勢、創意工夫などを総合的に評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	生理解剖学
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	人体のしくみ、構造と働きの基本を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	エステティック施術を正しく行うための知識を身につける
教科書	新エステティック学　理論編Ⅰ
特記	
授業計画	1 身体の基本 2 骨格系・筋系 3 神経系 4 復習・問題演習① 5 感覚 6 内分泌系 7 呼吸器系 8 復習・問題演習② 9 循環器系 10 消化器系 11 泌尿器系 12 生殖器系 13 復習・問題演習③ 14 問題演習 15 習熟理解度テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	15コマ目実施　習熟理解度テスト（60点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用美容理論
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	エステティシャンセンター試験合格レベルの知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習とポイントを絞った復習により知識の定着を図る
達成目標	エステティシャンセンター試験合格
教科書	新エステティック学
特記	
授業計画	1 問題演習①　エステティック概論・心身生理学／生命活動とホメオスタシス 2 問題演習②　皮膚科学 3 問題演習③　解剖生理学 4 問題演習④　運動生理学・化粧品学 5 問題演習⑤　栄養学 6 問題演習⑥　電気機器学・関連法規／業界統一自主基準 7 問題演習⑦　衛生消毒／衛生管理・サロンでの救急法 8 問題演習⑧　エステティックカウンセリング・サロンマネジメント／経営学 9 問題演習⑨　フェイシャル実技理論 10 問題演習⑩　ボディ実技理論 11 問題演習⑪　ワックス脱毛実技理論 12 総合問題演習① 13 総合問題演習② 14 総合問題演習③ 15 習熟理解度テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	15コマ目に習熟理解度テスト実施。（合格点70点以上）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	着付実習
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０単位時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	きものの知識と実技を身に付ける
授業の進め方	自装をマスター後、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	二重太鼓の他装、振袖の飾り結びができるようになる。
教科書	着物の教科書　（全日本着物振興会）
特記	
授業計画	1 着物の基本　和装小物の説明、ゆかた道具一式確認 2 着物の片付け・体型補正 3 浴衣　自装　文庫 4 着物の種類について　絽、紗 5 浴衣　他装　花文庫 6 浴衣　自装・他装　蝶々 7 実技試験　ゆかた 8 着物の作法 9 単衣　自装①　襦袢 10 単衣　自装②　太鼓 11 単衣　自装③　太鼓 12 袷　自装①　太鼓 13 袷　自装②　太鼓 14 実技試験　自装　太鼓 15 袷　他装①　太鼓 16 袷　他装②　太鼓 17 実技試験　他装　太鼓 18 着物の応用　訪問着　二重太鼓 19 袷　自装①　二重太鼓 20 袷　自装②　二重太鼓 21 実技試験　自装　二重太鼓 22 袷　他装①　二重太鼓 23 袷　他装②　二重太鼓 24 実技試験　他装　二重太鼓 25 着物の応用　振袖　ふくら雀 26 振袖　グループ　ふくら雀① 27 振袖　グループ　ふくら雀② 28 振袖　グループ　薔薇① 29 振袖　グループ　薔薇② 30 総合テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	7, 14, 17, 21, 24コマ：実技試験　50点（各10点×5回） 27, 29コマ：グループワーク　20点（各10点×2回） 総合テスト　30点
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アロマテラピー応用
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義　演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	アロマテラピーの基礎知識を活用し、アロマテラピー検定１級レベルの知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	アロマテラピー検定１級に合格できるレベルの知識を身に付ける
教科書	アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集
特記	
授業計画	1　復習：精油について、安全性 2　復習：アロマテラピーのメカニズム、ヘルスケア 3　復習：歴史、法律 4　復習：精油のプロフィール① 5　復習：精油のプロフィール② 6　問題演習① 7　問題演習② 8　問題演習③ 9　習熟理解度テスト 10　問題演習④ 11　問題演習⑤ 12　問題演習⑥ 13　習熟理解度テスト 14　アロマテラピー検定　１級　模擬問題① 15　アロマテラピー検定　１級　模擬問題②
成績評価方法 （試験実施方法）	9、13コマ目実施　習熟理解度テスト（60点以上）

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パーソナルカラー応用Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義　演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	パーソナルカラーの基礎知識を活用しパーソナルカラー２級レベルの知識の定着を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	パーソナルカラー２級に合格できるレベルの知識を身に着ける。
教科書	パーソナルカラー検定２級公式テキスト
特記	
授業計画	1　第１章　色彩と文化　染料・染色と顔料 2　第１章　色彩と文化　ヨーロッパの色の歴史 3　第１章　習熟理解度テスト 4　第２章　色彩理論　混色・照明と色 5　第２章　色彩理論　色の知覚効果 6　第２章　色彩理論　基本的な配色テクニック 7　第２章　習熟理解度テスト 8　第３章　CUS配色調和理論 9　第３章　習熟理解度テスト 10　第４章　色彩を活かすテクニック　ファッション 11　第４章　色彩を活かすテクニック　ティスプレイ・インテリア 12　第４章　習熟理解度テスト 13　第５章　パーソナルカラー　パーソナルカラーとスタイリング 14　第５章　パーソナルカラー　ブライダルと色彩 15　第５章　習熟理解度テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	各セクションにおける習熟理解度テスト　100点（各20点×5回）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パーソナルカラー応用Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	パーソナルカラーの基礎知識を活用しパーソナルカラー２級レベルの知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習とポイントを絞った復習により知識の定着を図る
達成目標	パーソナルカラー２級に合格できるレベルの知識を身に着け、パーソナルカラー診断ができるようになる
教科書	パーソナルカラー検定２級公式テキスト
特記	
授業計画	1 項目別　パーソナルカラースタイリング、イメージ 2 項目別　CUS、配色問題 3 項目別　ヨーロッパの歴史、染料・顔料 4 項目別　ファッション、インテリア 5 項目別　色の知覚効果、混色、照明 6 検定直前対策① 7 検定直前対策② 8 検定直前対策③ 9 検定直前対策④ 10 検定直前対策⑤ 11 模擬テスト 12 演習　パーソナルカラー診断① 13 演習　パーソナルカラー診断② 14 演習　パーソナルカラー診断③ 15 パーソナルカラー診断テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	検定直前問題　50点（１回10点×5回） 模擬テスト　20点 15コマ目実施　パーソナルカラー診断テスト　30点
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	テクニカルメイク
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習　実習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	上級のメイクアップの知識と技術の習得
授業の進め方	美容師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	上級のメイクアップ技術を身につける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 カバーメイク① 2 カバーメイク② 3 カバーメイク③ 4 カバーメイク④ 5 特殊メイク① 6 特殊メイク② 7 特殊メイク③ 8 特殊メイク④ 9 傷メイク① 10 傷メイク② 11 傷メイク③ 12 傷メイク④ 13 イメージメイク① 14 イメージメイク② 15 イメージメイク③
成績評価方法 （試験実施方法）	各セクションでの出来栄え評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	テクニカルネイル
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習　実習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	サロンワーク用イクステンションの習得
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	ネイリスト技能検定1級、ジェルネイル検定上級取得
教科書	なし
特記	
授業計画	1　ネイリスト技能検定1級対策　スカルプチュア① 2　ネイリスト技能検定1級対策　スカルプチュア② 3　ネイリスト技能検定1級対策　チップ＆オーバーレイ① 4　ネイリスト技能検定1級対策　チップ＆オーバーレイ② 5　ネイリスト技能検定1級対策　ミックスメディアアート① 6　ネイリスト技能検定1級対策　ミックスメディアアート② 7　ネイリスト技能検定1級対策　模擬試験 8　ジェルネイル検定上級対策　ジェルクリアスカルプチュア① 9　ジェルネイル検定上級対策　ジェルクリアスカルプチュア② 10　ジェルネイル検定上級対策　チップオーバーレイ＆デザイン① 11　ジェルネイル検定上級対策　チップオーバーレイ＆デザイン② 12　ジェルネイル検定上級対策　チップオーバーレイ＆フレンチルック① 13　ジェルネイル検定上級対策　チップオーバーレイ＆フレンチルック② 14　ジェルネイル検定上級対策　通し練習 15　ジェルネイル検定上級対策　模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験での合格（７０点以上取得）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トータルエステティック
実務家教員授業	
学部・学科	トータルビューティー学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習　実習
授業時間	３０単位時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	より高度なエステティック技術の習得。認定エステティシャン試験合格を目指す。
授業の進め方	認定講師の指導を基に、相モデルでの実習を行い、技術の向上を図る
達成目標	認定エステティシャン取得
教科書	新エステティック学　技術編Ⅰ
特記	
授業計画	1 フェイシャル　カウンセリング（ウッドランプ）、ディープクレンジング① 2 フェイシャル　カウンセリング（ウッドランプ）、ディープクレンジング② 3 フェイシャル　カウンセリング（ウッドランプ）、ディープクレンジング③ 4 フェイシャル　機器（イオントフォレーゼ、パター）① 5 フェイシャル　機器（イオントフォレーゼ、パター）② 6 フェイシャル　機器（イオントフォレーゼ、パター）③ 7 ボディ復習、カウンセリング① 8 ボディ復習、カウンセリング② 9 ボディ復習、カウンセリング③ 10 ボディ　機器（低周波、バイブレーター）① 11 ボディ　機器（低周波、バイブレーター）② 12 ボディ　機器（低周波、バイブレーター）③ 13 ワックス脱毛① 14 ワックス脱毛② 15 ワックス脱毛③
成績評価方法 （試験実施方法）	各セクションで実技試験（７０点以上）
備考	